

# りんごだより

草笛学園 2024年 10月号



10月に入り、今年も残すところあと2ヵ月となりました。朝、晩はだいぶ涼しくなりましたが、日中はまだまだ暑い日が続いていますね。気温差に咳や鼻水が出ているお子さんも見受けられます。しっかり食べて、たっぷり身体を動かして、よく寝て、風邪に負けず、元気に毎日をすごしたいですね。

## 発達はかけがえのない私を築くこと

～ マイナスをふくむ過程としての発達 ～

人間が発達する過程では、意味を感じ、主体的に自分を変えようとしながらも、簡単には変われず苦勞するという時期を必ず経ることになります。保健所の「親子教室」に来ている子どもたちは、出席のシール貼りの時に前に出たがったり、友だちを押ししたりする子が多く、トラブルが頻発しがちです。保育士のすることに意味を感じ、自分もしたいと思うから前に出ていくし、自分の前を遮った子を押ししたりしてしまいます。意味を感じようとするからトラブルになり、叱られるという矛盾を抱えるのです。関心がなければトラブルも起きません。順番が来ればできると見通せるようになればトラブルはぐんと減りますが、見通す力量がつくまではトラブルが発生するのです。

4歳児は仲間に目が向くようになるだけでなく、仲間の能力に目が向くようになり、「〇くんはすごいなあ、逆上がりができるもん」と友だちにあこがれるようになります。あこがれの友だちと同じようにできることに意味を見出すから主体的に練習しますが、練習してもすぐにはできるようにはなりません。したいけれどうまくできないマイナスの自分とつきあわざるをえないのです。だから気持ちが揺れ、積極的になれず、手持ち無沙汰になって鼻くそをほじくったり、爪を噛んだりといった癖が出やすくなり、マイナスが拡大したように見えるのもこのころです。でも、子どもたちは揺れる心を持ちながらも挑戦し続け、出来るようになっていくのです。

出来もしないのに挑戦するのはなぜ？と問われても子どもは答えられませんが、なぜかわからないけれど意味を感じ、したくなってしまうのです。だから挑戦しつづけるのですが、安定して取り組めるようになるにはところが揺れ、マイナスをたくさん出してしまいます。挑戦するから新たなことが出来るようになるのですが、出来るようになるまでには

時間がかかります。「したいけれどできない自分」とつきあいつづけられるのは、大人と自分を信じられるからではないでしょうか。こうしたマイナスをより拡大して出してくるのが、障がいのある子どもやマイナスに見られがちな特性を持っている子どもたちだから、二重にマイナスが出て、子どもも父母もしんどさが拡大するのです。

マイナスな行動が出たときには、子どもが変わりたがっているのだということをまず理解したいものです。友だちを押し倒したり鼻くそをほじくる姿の中に、自分にいらついている健気なところをくみ取り、子どもの飽くなき挑戦を支える基本に立ち戻ることが求められます。自分と大人を信頼できているでしょうか？マイナスな自分でも大人は愛してくれていることを実感するためには、情けない姿を受けとめられることが求められます。「そんなあなたがかわいい」と朝・晩抱きしめてくれる父母の存在が子どもの安心を保障します。「ダメな自分も愛されている」「ダメなじぶんでもいいのだ」という実感を、私は「自己安定感」と呼んでいます。それだけで子どもは、自分の中のマイナス度をぐんぐんと減らすことができます。

『続 発達の芽をみつめて ～かけがえのない「心のストーリー」～』近藤 直子 著



## 次回のりんご教室は…

① 2024年 11月 5日 (火)

時間：9時30分～11時30分

活動：さんぽ

持ち物：リュック、帽子、水筒

② 2024年 11月 19日 (火)

時間：9時30分～11時30分

活動：さんぽ

持ち物：リュック、帽子、水筒

### 【参加される皆様へ】～ご協力をお願いします～

- ・ お休みされる場合は、学園までご連絡ください。
- ・ 参加費は無料です。(おたよりはホームページに記載され、通信費が必要ない為) 製作やクッキングの活動の時には、材料費として100円いただきます。その都度連絡します。
- ・ 草笛学園の遊戯室での活動となります。
- ・ 靴は靴箱に入れてください。
- ・ 水分補給の為、お茶を準備してください。(ジュース類は控えてください)
- ・ きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は、事前に職員までご相談ください。
- ・ トラブルによるけが防止のため、参加前に必ず爪を切ってきてください。

### 【感染症対策について】(※国の方針に準じて対策を見直しています)

- ・ 参加者・職員共にマスクの着用は自由とします。但し、クッキングの際やその時々感染状況を見て着用をお願いする場合があります
- ・ 原則大人1名・子ども1名の参加をお願いしてきましたが、今後はその限りとはしません。但し、グループによっては参加者が多い場合がありますので、担当職員にご相談ください
- ・ 入室前の検温・申告は不要ですが、朝の検温等、引き続き体調管理をお願いします。37.5度以上の発熱がある場合は参加をお控え下さい
- ・ 園内の換気や消毒は引き続き継続します